

令和6年1月 教育委員会会議録 第1回

日 時 令和6年1月16日（火） 10時30分～11時50分
場 所 横浜小学校
出席者 教育長 枝廣泰知
委 員 松村英勝・埤本友造・平沖純子・佐野友美子
出席職員 福嶋生涯学習課長・藤原学校教育課長・福富主幹
中屋敷主事（記録者）

開会 枝廣教育長 開会を宣言する。

1 議事録署名委員の指名

枝廣教育長から、枝廣教育長と埤本委員を議事録署名委員に指名する。

各委員とも、異議なし。（議決）

2 教育長報告

(1) 令和6年坂町成人式等について

枝廣教育長から資料をもとに、令和6年坂町成人式等について説明する。

(埤本委員)

成人式の対象年齢を検討しているということだが、19歳になる学年の方を対象とするのはなぜか。

(福嶋生涯学習課長)

18歳が成人の年齢となった。ただ、18歳になる学年を対象としてしまうと、成人を迎えていない方もいる成人式となる。また、受験もあり現実的ではない。19歳になる学年を対象とすると、全員が成人の年齢を迎えていることになり、成人式という名前にも合致する。現行の20歳になる学年を対象とすると、成人式という名前にそぐわないことになる。

(枝廣教育長)

まだ決定したわけではないので、随時報告をする。

(2) 第2回坂町の教育を考える会について

枝廣教育長から資料をもとに、第2回坂町の教育を考える会について説明する。

(松村委員)

今回は議題が分かりやすく、よい議論ができた。全員が発言できた点も良かった。

3 議題

(1) 協議：令和6年度坂町教育行政方針について

藤原学校教育課長、福島生涯学習課長から資料をもとに、令和6年度坂町教育行政方針について説明する。

(松村委員)

「こども」の表記についてだが、「子ども」とすることにした経緯を教えてください。

(枝廣教育長)

県は漢字での表記をしているが、国はもっと柔らかい「こども」という表記を推奨している。坂町でも議論をしたが、「子ども」の表記とすることにした。

(平沖委員)

学校教育と生涯学習のつながりを意識した教育行政方針であるべきではないか。たとえば、「生涯学習をする姿勢を学校教育で身につける」など、つながりを意識した表現を取り入れてみてはどうか。また、放課後子どもプランについて説明が必要ではないか。

(枝廣教育長)

検討する。放課後子どもプランについては、説明を追記する。

(埴本委員)

町内の保育園・こども園との連携のことについて記載があるが、町外の幼稚園などに通うご家庭もある。町外の幼稚園などとは連携をとっていないのか。

(福富主幹)

町外の幼稚園などとも連携は必ずとり、必要な情報を得ている。坂町の教育行政方針なので、町外のことについて記載をしていない。

(佐野委員)

海外研修を実施する際には、中学生のみではなく、コロナウイルスの影響で研修に参加するチャンスがなかった高校生も対象とするとよいのではないか。

(福島生涯学習課長)

その通りで、高校生も対象とするかを検討していく。

(2) 報告：教育長が臨時に代理した事項の報告及び承認について

藤原学校教育課長から資料をもとに、教育長が臨時に代理した事項の報告及び承認について説明する。

各委員とも、質疑なし。

閉会

枝廣教育長

閉会を宣言する。